

インプット	機能	施設整備の目的	施設整備の課題(整備施設例)	整備内容 (課題解決策)	整備結果 (アウトプット指標)	寄与の仕方	短期的効果 (短期的アウトカム)	短期的効果指標 (アウトカム指標)	中期的効果 (中期的アウトカム)	長期的効果 (インパクト)
施設整備事業	研究機能	①卓越した研究拠点の形成	高度な研究設備を有し、先端的な研究に対応できる施設の確保 (高度で先端的な機能を持つ実験室・研究室 等)	質的	共同利用研究スペース数・面積 機能向上実験室数・面積	教員の研究活動の効率化 専門的研究への対応 研究室・実験室の情報化への対応 動線の改善 研究空間の安全性の向上	実施可能な高度研究の増加 研究人員の充実 優秀な学生の入学、研究者の増加 学外からの注目度・認知度の向上 研究者の質の向上 研究者の研究意欲の向上 先進的な研究テーマの創出	外部資金の獲得件数・獲得額 学生、研究者の増加人数 大学院への進学率 大学院生(博士)の数学外者の研修受入人数 論文・著書の件数 学術誌への掲載件数 外部発表の件数 学会賞等の受賞件数 先進的な研究テーマ件数 特許出願・取得件数	高度な研究成果の増加 研究テーマの質向上	高度な知識を身につけた研究者の創出
		②多様な研究活動の促進 (例:複数領域を有機的に融合した研究成果の創出)	多様な研究に専念でき、研究分野の裾野を広げる施設の確保 (独立した研究室・実験室、共同研究室・実験室、レンタルラボ 等)	質的	共同利用研究スペース数・面積 若手研究者研究スペース数・面積	多様な研究の実施 研究活動の効率化 研究室・実験室の情報化への対応 動線の改善 研究空間の安全性の向上	研究分野の裾野が拡大 研究者の質の向上 若手研究者の研究意欲の向上 優秀な研究者の増加 独創的な研究テーマの増加 企業が求める専門的人材の増加	外部資金の獲得件数・獲得額 研究者の増加人数 論文・著書の件数 学術誌への掲載件数 学会賞等の受賞件数 若手研究者の外部発表の件数 大学院への志願者数 研究者の増加人数 共同研究テーマの件数 研究テーマの分野数 特許出願・取得件数 企業からの専任職求人 就職率	創造的・独創的で自立した研究者の育成 若手研究者のスペース確保による自立した研究の支援 研究成果の増加	多様な知識を身につけた研究者の創出
		③研究者の交流機会の増加	研究者同士の交流スペースの確保 (ラウンジ、交流スペース、会議室 等)	質的	交流スペース面積	研究者同士の交流の促進 交流による独創的なテーマの創出 研究のスピードアップ 快適性の向上	共同研究テーマの増加 独創的な研究テーマの創出 研究者の質の向上	共同研究実施件数・獲得額 外部資金の獲得件数・獲得額 特許出願・取得件数 論文・著書の件数 学術誌への掲載件数 学会賞等の受賞件数	共同研究によるイノベーションの創出 研究分野の融合を促進する魅力ある研究拠点の形成 他大学との共同研究等、連携協力を推進する研究環境の確保 創造的・独創的で自立した研究者の育成 研究成果の増加	高度な知識を身につけた研究者の創出
				量的	実験室の数・面積の増加 研究者の滞在スペースの増加	研究空間の確保 多様な設備機器の設置スペース確保 研究空間の安全性の向上				
				量的	実験室の数・面積の増加 研究者の滞在スペースの増加	研究空間の確保 多様な設備機器の設置スペース確保 研究空間の安全性の向上				
				量的	研究者交流スペースの面積の増加	交流空間の確保 研究者同士の交流促進 交流による独創的なテーマの創出 研究のスピードアップ				

施設整備事業(インプット)・・・効果把握の対象となる施設整備事業(改修事業又は新営事業)の事業費及び施設を使用する組織、人員、設備等。

整備結果(アウトプット指標)・・・「施設整備事業(インプット)」によって提供されるスペースや施設機能であり、直接的に把握できる結果を想定(「施設整備事業」の結果を測定する指標としても使用)。

寄与の仕方・・・「整備結果(アウトプット指標)」から「短期的効果(短期的アウトカム)」の発現に至る過程を具体的に関連づける項目。

短期的効果(短期的アウトカム)・・・施設整備事業完成後、概ね2～4年程度の期間で、発現する効果。一部部門に顕著に発現し、若しくは発現が見込まれる効果。

中期的効果(中期的アウトカム)・・・一部部門に顕在化した短期的効果から発展し、3～6年程度の期間で大学全体に影響を及ぼすことが見込まれる効果。

長期的効果(インパクト)・・・施設整備事業(インプット)から中期的効果に至る一連の過程を経て、最終的に大学を超えて地域社会、日本社会、国際社会への貢献に波及することが見込まれる効果。

インプット	機能	施設整備の目的	施設整備の課題(整備施設例)	整備内容 (課題解決策)	整備結果 (アウトプット指標)	寄与の仕方	短期的効果 (短期的アウトカム)	短期的効果指標 (アウトカム指標)	中期的効果 (中期的アウトカム)	長期的効果 (インパクト)
施設整備事業	地域貢献機能	①地域、社会との共生	地域全体で利用可能な開かれた施設 (セミナー施設、会議室、開放スペース、レンタルラボ 等)	質的	地域に開放可能な施設・スペース数・面積	地域住民の利用頻度増加 地域での利用ニーズ増加	地域との交流機会増加 地域での大学PR機会の増加 地域の学生確保	施設貸出件数 施設の入館者数 公開講座開催件数 地域イベントの開催数 地域からの入学者数	地域におけるプレゼンス向上 大学と地域の知識、人材の交流 活発化	地域の知の拠点としての機能 向上 「地域経営」への大学参加の 確立
				量的	地域に開放可能な施設の数・面積の増加	地域との交流における収容人員の増加 地域での利用ニーズ増加				
			地域と連携し、課題解決に寄与する施設の確保 (セミナー施設、会議室、開放スペース、レンタルラボ 等)	質的	地域課題を解決するための施設スペース数・面積	大学と自治体等の交流機会が増加 大学の知識を実践につなげる機会の増加	地域貢献度ランキング 地域貢献プロジェクトの実施件数 地域特有の問題・課題に対する研究テーマ数 自治体審議会等委員数 連絡協議会・連絡会議の開催回数			
				量的	地域課題の解決に寄与する施設の数・面積の増加	大学と自治体等の交流機会が増加 大学の知識を実践につなげる機会の増加				
		②生涯学習機能の充実 (例:社会人の教育機能の提供)	必要な情報を整備し、多様な利用者を集める図書館施設の確保 (図書館、図書室 等)	質的	開放面積	高水準の知識に触れる機会の増加 自主学習の意欲向上 情報提供スペースの充実 学外者の利用促進	利用者の満足度の向上 図書館利用者数の増加	利用者の満足度(アンケート) 図書館利用者数	地域の公共サービスの質的向上	
				量的	自主学習スペースの数・面積の増加 閲覧スペースの面積の増加	自主学習空間の確保 獲得できる情報量の増加 情報提供スペースの増加 学外者の利用促進				
			多様な教育環境を提供する施設の確保 (リカレント施設、サテライト教室、テクノセンター 等)	質的	生涯教育に対応する施設のスペース数・面積 サテライトキャンパスの設置面積	障がい者の社会的自立、人材育成 社会人等への教育機会の提供 遠隔地での授業機会の創出	社会人利用者の増加 サテライト授業受講生の増加 社会的自立・貢献のできる障がい者の増加	社会人の利用者数 公開講座開催件数 サテライト授業の開講講座数 サテライト授業の受講生増加数 障がい者の受講者数		地域におけるプレゼンス向上
				量的	障がい者向け学習スペースの数・面積の増加 社会人向け学習スペースの数・面積の増加 サテライトキャンパスの設置面積の増加	障がい者、社会人等の利用促進 遠隔地での授業機会の創出				
		③地域との共同研究の促進	プロジェクト型の研究に対応した施設の確保 (共用の研究スペース、レンタルラボ等)	質的	プロジェクト型研究に対応できる実験施設のスペース数・面積	共同研究の機会増加 企業との交流による新テーマの創出	共同研究の増加 受託研究の増加 TLO件数の増加 研究への協力者数の増加 インターンシップの増加	共同研究実施件数・獲得額 受託研究実施件数・獲得額 TLOの技術提供件数 学外者の研修受入数 インターンシップ企業数	知的資源の活用による地域の課題解決や新たな価値の創出	
量的	プロジェクト型研究に対応できる実験施設のスペース数・面積の増加			連携先との交流機会増加 会議等開催件数や参加人数の増加						
産学官の研究開発に対応した施設の確保 (地域共同研究センター 等)	質的		産学官連携研究室のスペース数・面積	産学官研究開発体制の活性化	支援対象案件の増加 支援対象者の増加 助成額の増加 事業投入コストの増加	支援対象案件応募数・採択数 支援対象先数(民間企業、大学等) 産学官連携体数 助成額 事業投入コスト総額	研究成果の事業化・製品化 研究成果の社会への還元 知的資源の活用による地域の課題解決や新たな価値の創出			
	量的		産学官連携研究室のスペース数・面積の増加	産学官研究連携機会の増加						

施設整備事業(インプット)・・・効果把握の対象となる施設整備事業(改修事業又は新営事業)の事業費及び施設を使用する組織、人員、設備等。

整備結果(アウトプット指標)・・・「施設整備事業(インプット)」によって提供されるスペースや施設機能であり、直接的に把握できる結果を想定(「施設整備事業」の結果を測定する指標としても使用)。

寄与の仕方・・・「整備結果(アウトプット指標)」から「短期的効果(短期的アウトカム)」の発現に至る過程を具体的に関連づける項目。

短期的効果(短期的アウトカム)・・・施設整備事業完成後、概ね2～4年程度の期間で、発現する効果。一部部門に顕著に発現し、若しくは発現が見込まれる効果。

中期的効果(中期的アウトカム)・・・一部部門に顕在化した短期的効果から発展し、3～6年程度の期間で大学全体に影響を及ぼすことが見込まれる効果。

長期的効果(インパクト)・・・施設整備事業(インプット)から中期的効果に至る一連の過程を経て、最終的に大学を超えて地域社会、日本社会、国際社会への貢献に波及することが見込まれる効果。

インプット	機能	施設整備の目的	施設整備の課題(整備施設例)	整備内容 (課題解決策)	整備結果 (アウトプット指標)	寄与の仕方	短期的効果 (短期的アウトカム)	短期的効果指標 (アウトカム指標)	中期的効果 (中期的アウトカム)	長期的効果 (インパクト)
施設整備事業	国際化推進機能	①キャンパスの国際化	グローバルな交流を促進し、国際化に寄与する施設の確保 (外国語専用施設、国際交流会館、国際会議場・ホール)	質的	国際化に寄与する施設のスペース数・面積	国際交流の機会創出 国際的なプレゼンスの向上	海外との交流機会の増加 海外に関心を持つ学生の増加 国際化に対応できる学生の増加 優秀な外国人教員の確保	国際交流協定校の数 海外からの講演招聘回数 日本人の留学生数 国際的な交流イベントへの参加人数 国際的な外部発表数・受賞数 外国人教員数	研究機能の更なる多様化・向上 研究機能等の諸外国への波及 国際的に通用する人材の養成機能の強化 地域の国際性向上への支援	国際的な教育拠点の確立 グローバルに活躍する優秀な人材の輩出 大学の国際的なプレゼンス向上
				量的	国際交流施設の収容人数、面積の増加	国際交流の機会創出 大規模なシンポジウム等への対応				
			国外官民実務者の人材を育成し、国際貢献を行う施設の確保(海外を対象にした教育施設)	質的	外国人実務者向けリカレント教育施設のスペース数・面積	外国語での交流促進 海外の先進的な研究テーマへの取組 外国人実務者の育成	外国人との交流増加 リカレント教育受講生の増加	留学生数 受講者の出身国数 リカレント教育修了者の数	教育機能の更なる多様化・向上 研究機能の諸外国への波及 外国人の人材育成機能の強化 国際貢献による海外からの評価向上	
				量的	外国人実務者向けリカレント教育施設の収容人数、面積の増加	外国語での交流促進 リカレント教育機会の増加 外国人実務者の育成				
			コミュニケーション能力を高め、研究の国際化を促す施設の確保 (外国語専用室、外国語学習室、外国人対応研究室)	質的	外国語学習施設のスペース数・面積 外国人対応研究室のスペース数・面積	外国語での交流促進 外国語に触れる機会の増加	国際化に関心を持つ学生の増加 国際的に注目される研究成果の実現 語学力の向上	日本人の留学生数 国際的な交流イベントへの参加人数 国際的な外部発表数・受賞数 国際的な研究テーマ数 一定のTOEICスコア取得者数 少人数外国語教育授業本数 外国人教員の担当講座数	国際的に通用する人材の養成機能の強化 地域の国際性向上への支援 国際的なプレゼンス向上	
				量的	外国語学習施設の数・面積の増加 外国人対応研究室の数・面積の増加	外国語での交流促進 海外の先進的・先進的な研究テーマの取組				
②留学生、外国人研究者等への対応	滞在する外国人学生、研究者の快適性・利便性を高める施設の確保 (留学生居住施設、留学生支援室)	質的	留学生居住施設のスペース数・面積	学業に専念できる環境の整備 不安の解消、他国学生との交流促進 外国人の大学に対する満足度向上	留学生の増加 外国人の満足度向上 外国人研究者の研究成果の向上 日本人学生の留学意欲増加	優秀な留学生の確保 国際的に通用する人材の養成機能の強化 多様な研究成果の実現 多国籍な教育拠点の確立 国際的なプレゼンス向上 海外からの入学生増加 海外からの求人数、海外への就職数の増加				
		量的	収容可能人数の増加 多国籍に対応した施設面積の増加 1人あたり居住スペース面積の増加	海外からの留学生獲得						

施設整備事業(インプット)・・・効果把握の対象となる施設整備事業(改修事業又は新営事業)の事業費及び施設を使用する組織、人員、設備等。

整備結果(アウトプット指標)・・・「施設整備事業(インプット)」によって提供されるスペースや施設機能であり、直接的に把握できる結果を想定(「施設整備事業」の結果を測定する指標としても使用)。

寄与の仕方・・・「整備結果(アウトプット指標)」から「短期的効果(短期的アウトカム)」の発現に至る過程を具体的に関連づける項目。

短期的効果(短期的アウトカム)・・・施設整備事業完成後、概ね2～4年程度の期間で、発現する効果。一部部門に顕著に発現し、若しくは発現が見込まれる効果。

中期的効果(中期的アウトカム)・・・一部部門に顕在化した短期的効果から発展し、3～6年程度の期間で大学全体に影響を及ぼすことが見込まれる効果。

長期的効果(インパクト)・・・施設整備事業(インプット)から中期的効果に至る一連の過程を経て、最終的に大学を超えて地域社会、日本社会、国際社会への貢献に波及することが見込まれる効果。